ESTIC
マザーズ:6161

個人投資家説明会資料

見えないところに、世界に通じる技術がある

Electric-Servo-Tool-Intelligent-Corporation

株式会社エスティック

http:// www.estic.co.jp/

会社概要　The Pioneer of High Accuracy Fastening

ESTIC

会社名	株式会社エスティック	
証券コード	6161 （東証マザーズ）	
設立年月日	1993年8月	
本店所在地	大阪府守口市橋波東之町2－5－9	
資本金	5億5700万円	
役員構成	代表取締役　社長	鈴木　弘
	専務取締役　生産本部長	池田　康廣
	常務取締役　管理本部長	伊勢嶋　勇
	取締役　営業本部長	橋本　雅司
	監査役	石川　康博
	監査役	松下　征輝
	監査役	沢田　恒夫
主要株主	鈴木　弘	467，400株
	株式会社日伝	140，000株
	エスティック従業員持株会	111，300株
	池田　康廣	111，000株
	長沼商事株式会社	70，000株
	飯田　雅次	36，500株
発行済み株式総数		1，471，000株
従業員数	従業員90名（パート13名含む）	
事業内容	電動工具、産業用ロボット・自動組立ラインの製造ならびに販売	

2013年9月21日現在

沿革

ESTIC

1993年　資本金3,000万円で太陽鉄工（現TAIYO）より独立し当社設立

1994年　東京営業所を横浜市に開設

1995年　資本金を4,800万円に増資

1997年　資本金を17，200万円に増資

1998年　中部営業所を愛知県岡崎市に開設

1998年　本社社屋改装及び新工場建設

1998年　ISO9002認証取得（JQA）

2000年　ハンドナットランナ発売

2001年　米国CINETIC　AUTOMATION社とOEM供給契約

2001年　中国上海に合弁会社SHANGHAI ESTICを設立

2003年　ISO9001認証取得（JQA）

2006年　資本金55，700万円に増資

2006年　東京マザーズへ株式上場

2006年　本社工場増設　テクニカルセンター開設

2007年　サーボプレス発売

2012年　タイ現地法人
ESTIC(THAILAND)CO.,LTD. 設立

製品コンセプト

ESTIC

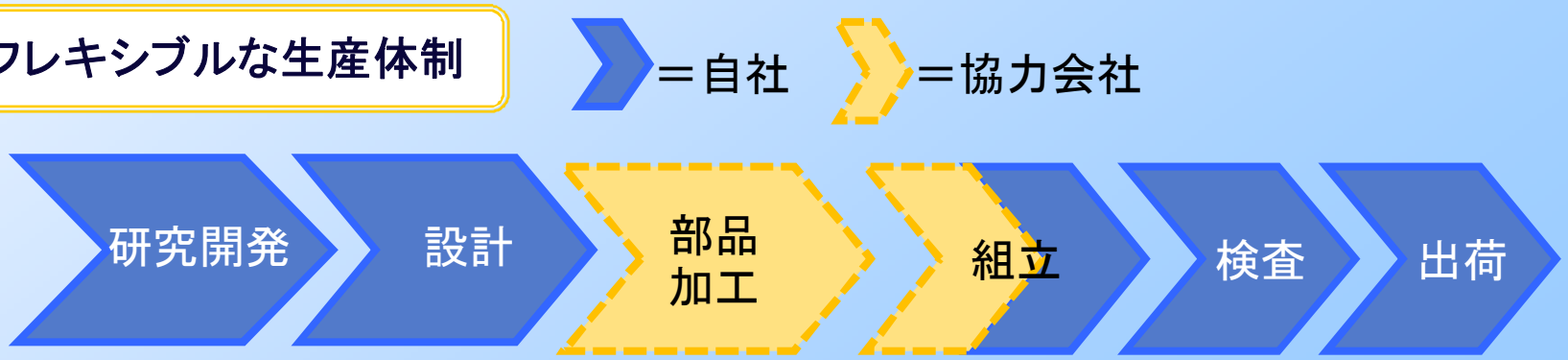
見えないものを見るテクノロジーで、ものづくりの未来を広げる

製品開発コンセプト

高精度計測・省力・エコロジーを電動化で実現

実現の為の技術力

フレキシブルな生産体制



当社製品の説明

ESTIC

組立における締結技術のひとつであるネジ締付、単にボルトやナットを締めるだけでなく、いかなる振動が加わっても緩まない締め付けの管理が出来なければなりません。

コンピュータとセンシング技術により、最良の締付ポイントまで締め付けすると同時にボルトの亀裂やネジのキズなど、人間では分からない品質管理機能も持っているのが当社製品の特徴。特に自動車の組立においては無くてはならないものとなっています。

ナットランナシステム

ハンドナットランナ

ネジ締付機

サーボプレスシステム

ナットランナとは　Nutrunner

ESTIC

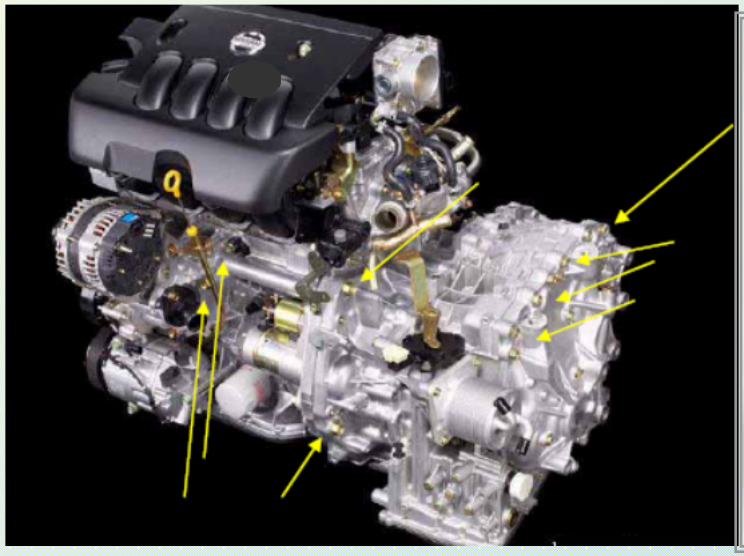
ナットランナ（自動ネジ締付機）とは、主に自動車製造工場の生産ラインでネジによる締結をおこなう部位（例えばエンジン、トランスミッション、デファレンシャルギャ、サスペンション等の車両部品組立）に使用されるものです。高精度なネジ締付を行い、あらゆる使用環境下でも緩みのないネジ締付けを実現します。

ナットランナを機械装置に組込んでネジ締付機として使用

締付部位例

エンジン／足回り

矢印のついている箇所のネジを締めます



ハンドナットランナとは　Hand　Nutrunner

ESTIC

高精度ネジ締付をハンディタイプで実現

エアーツールとの違い

	電動ハンドナットランナ	エアーツール
トルク精度	**±3%の精度**が設定次第で可能	**±7～10%**
省エネ性	ランニングコストが安い （平均消費電力：0.05kw締付け4秒サイクルにて実測）	エネルギー効率が悪い 約44倍（空気消費量300L/minとしてコンプレッサーの出力2.2kw相当）
	締付1回当たり**電気代0.5円**	締付1回当たり**電気代22円**
環境性	非常にクリーンである	排気オイルミスト有り
制御性	設定次第で自由に設定可	基本的には固定
	トルク・時間・スピードも任意に設定可（キー入力のみ）	機械的な調整が有るが非常に困難かつ微妙である
メンテナンス性	メンテナンスフリー 耐久性は油圧レンチの約4～5倍の100万サイクル	オイルパルス部のばねやブレード、エアーモーター部のベイン等、定期的に点検、交換を常に必要とする（約10～20万サイクルごとに必要）
配線・配管	電線のみでシンプル	エアーホース、電線、電磁弁、ケーブルが必要で取り回しが難しい
データ処理	最終締付けトルクはもちろん角度データ、時間もとれる	最終トルクのみ

サーボプレスとは　Servo Press

ESTIC

人と地球の明日の為に！ 完全進化したプレスユニット

用　途

◎圧入（荷重制御/距離制御/荷重制御圧入端管理）
◎貼合・打抜・カシメ・歪取・位置決め

特　徴

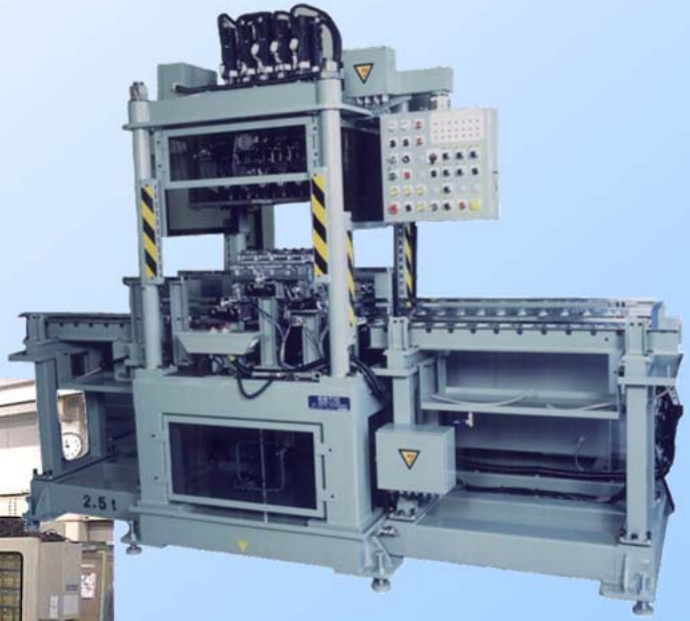
◎環境にやさしい　：エアレス＆オイルレスのクリーンシステム
◎作業性重視　：充実したユーザインターフェース
◎最新式サーボ採用：高速、高精度、高品質
◎高規格データ処理：荷重データの管理分析に依る作業改善
◎作動時異常検出　：異常発生時の即時検出即時停止によるワーク破損防止

ネジ締付機　製作例

ESTIC

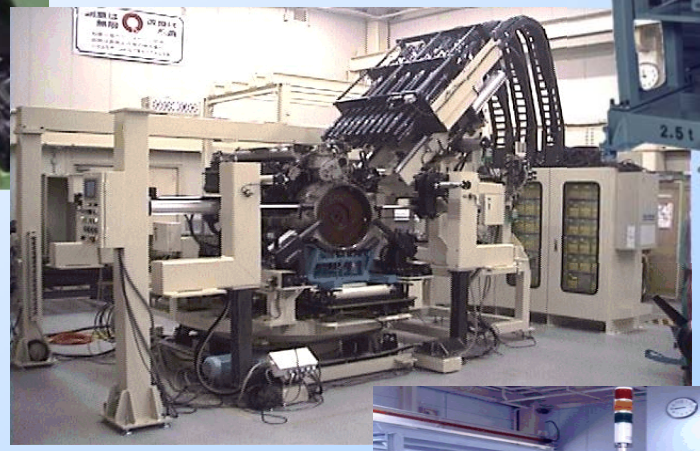
ナットランナを組み込んだ自動ネジ締付機

ベアリングキャップ圧入締付機



コンロッド組立機

V8エンジンシリンダヘッド締付機



オイルポンプ組立機

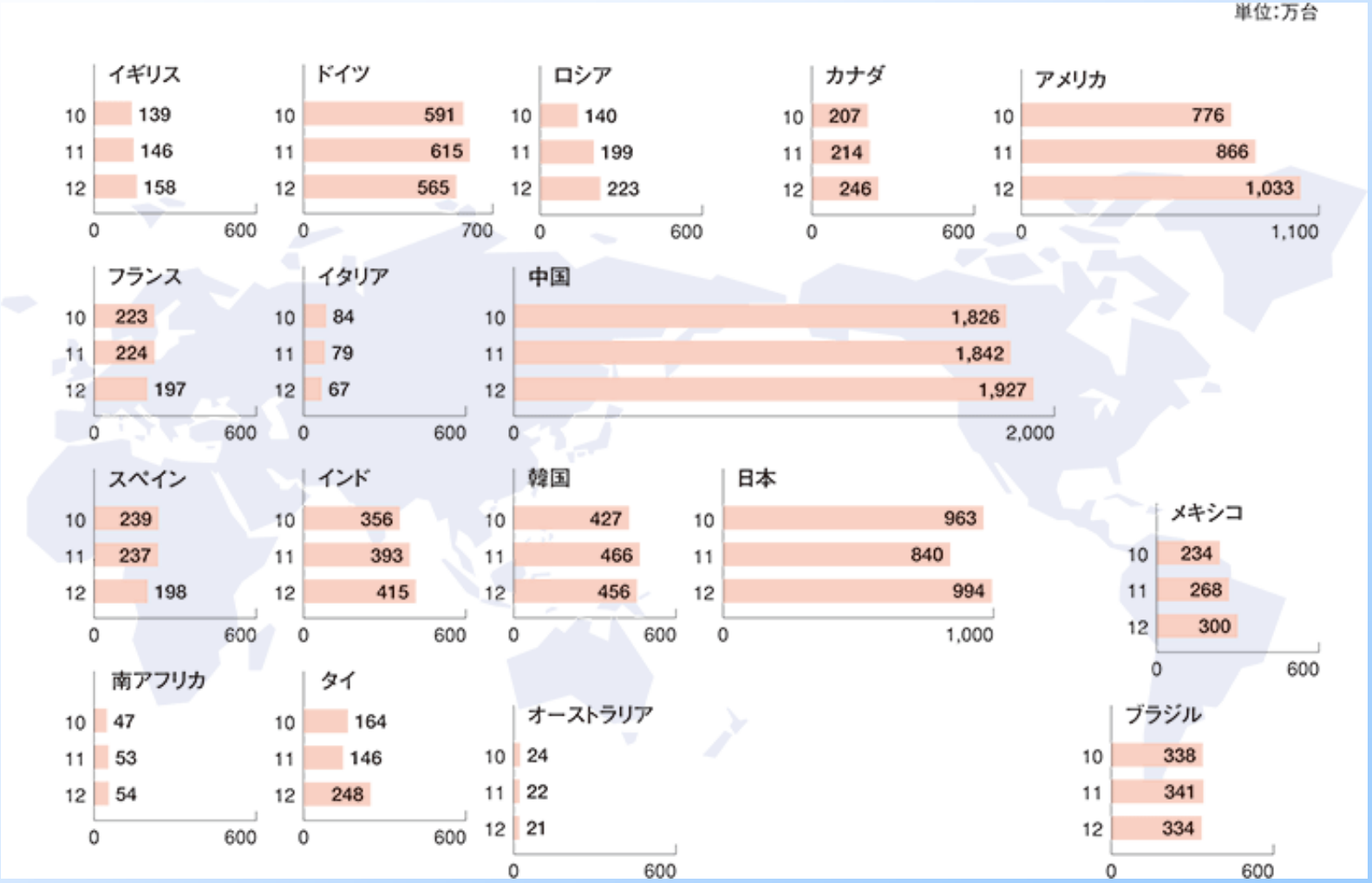
ネジ締付機はすべてオーダーメイドの受注生産品です。
客先仕様に基づきナットランナを組込み設計製作します。

動画による製品説明

ESTIC

市場状況

主要国の四輪車生産台数推移



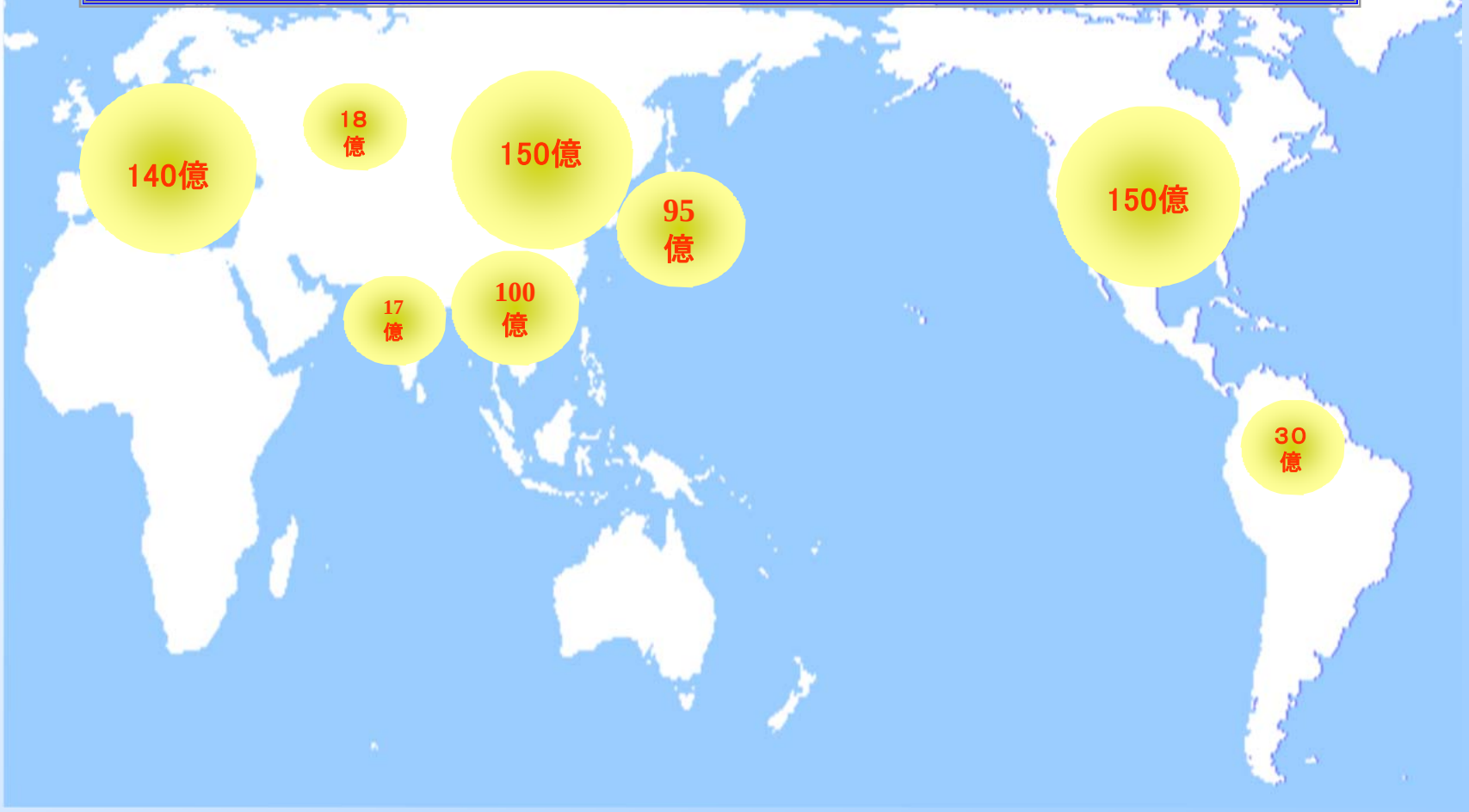
出所:日本自動車工業会資料より抜粋

市場規模

ESTIC

ナットランナの市場規模

全世界で約700億円→アジア、中南米拡大



競合比較

ESTIC

ナットランナ

	当社	国内他社	海外他社
技術開発力	国内自動車産業の**設備思想に合致した機能及び操作性**をもっている。 OEM先との協力体制のもと**米国設備思想にも合致**している	国内においては同左、海外技術思想には都度対応。	世界市場での技術思想に合致した製品開発を行っているが、日本の技術思想にはあまり受け入れられない。
販売力	国内市場は特定のユーザーに偏よることなく販売しているので、他社に比べて選択受注による利益確保しやすい。 当社及び国内他社が大半のシェアを確保している。 海外市場はサービス拠点及びネームバリューが貧弱で海外競合大手には劣る。	トヨタ、マツダ等大手自動車メーカーである特定ユーザーに偏重した販売をしている会社もあり、売上高は確保できるが利益コントロールは難しい場合が多い。	世界市場において、販売網が整備されており、ネームバリュー、サポート体制、会社の健全性を背景にシェアを確保している。 但し日本や韓国、台湾市場は日本の自動車メーカーの技術思想で生産工場が作られているケースが多いのでシェアが低い。
価格競争力	国内は各社同レベル、海外競合他社は国内メーカーの価格の１．５から2倍の価格	同左	同左
サポート体制	日本、U.S.A、中国については直接及び間接的に拠点があるので十分なサポートができる。 その他の国については、販売代理店でのサポートとなるので、代理店のレベルによりサポート体制には差がある。	日本国内においては問題ない。海外においては販売代理店対応	アトラスコプコ、ボッシュ等の大手は直接または、関連会社等により世界主要国に拠点整備しており、サポート体制は万全。

市場規模

ESTIC

ハンドナットランナの市場規模

全世界で1000億円以上

エアーから電動へのシフトで市場拡大

エアーツール

トルク検知型　エアーインパクト、
エアーオイルパルス

800億円

電動ハンドナットランナ

200億円

ハンドナットランナの市場開拓に注力

※各メーカーデータを基にした当社予測値

競合比較

ESTIC

ハンドナットランナ

	当社	海外他社
技術開発力	特許技術であるパルス締付けによる反力軽減締付けが差別化。特に高トルク域でのピストルタイプではその差別化効果が大きい。 その他の製品性能及び品質は対等。 ハンド工具業界では後発のため、各種アプリケーション（補助具）のバリエーションの整備が乏しい。	高トルクの締付けには補助具が必要となり操作性が悪い。 商品バリエーション、アプリケーションが豊富。
販売力	市場認知度がまだまだ弱い。 世界市場での販売体制も未成熟。	市場認知度が高い。世界規模で販売網も整備されている。
価格競争力	海外他社製品の半額程度の販売価格で十分な利益確保が可能。	同左
サポート体制	国内及び米国でのサポート体制は問題ない。 その他の国、地域でのサポート体制は今後の課題。	世界規模での万全なサポート体制を有している。

グローバルネットワーク

ESTIC

販売体制のグローバルネットワーク

取引先

ESTIC

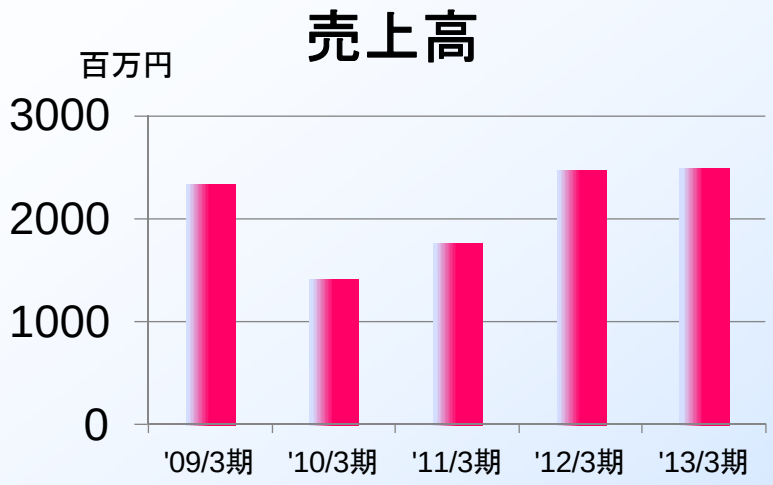
自動車産業が主たる顧客基盤 （国内90%・海外100%）

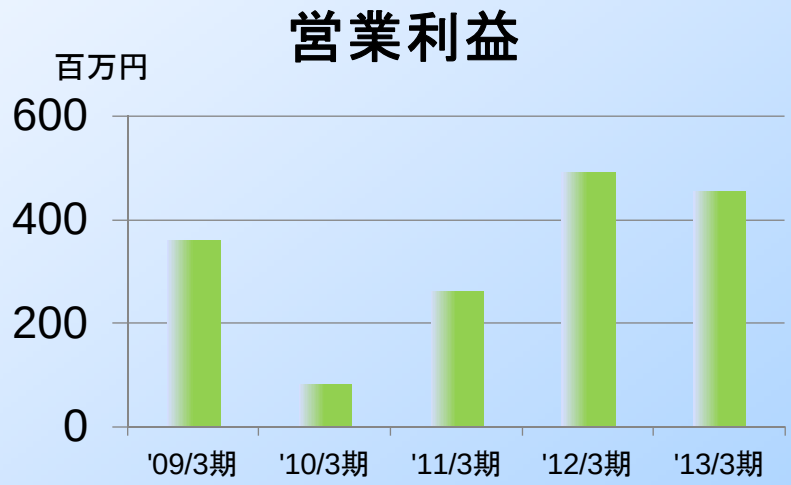
順不同

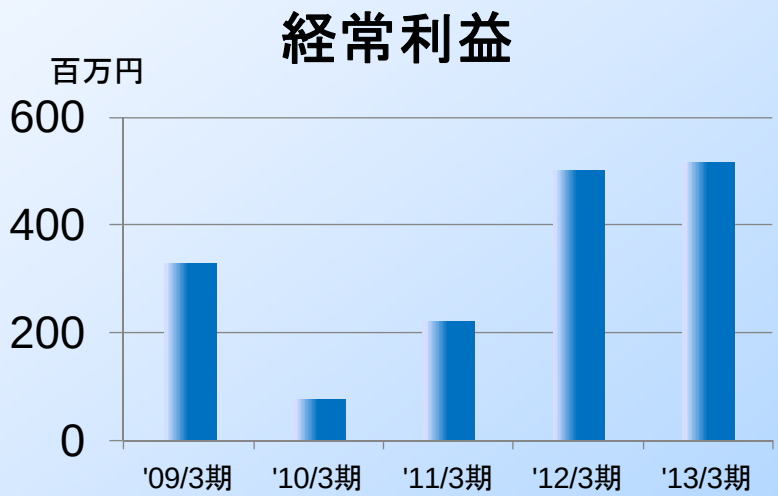
KYB	ジヤトコ	トヨタ紡績	ﾎﾝﾀﾞｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	Anhui	Honda Canada
NKC	ショーワ	錦陵工業	本田技研工業	Beijing Hyundai	Honda Ohaio
NOK	新キャタピラ三菱	日産工機	マキタ	Burger Ringer	Honda Anna
NTN	シンワ工業	日産自動車	松下電器産業	ChanChai	Kia Motors
ZEXEL	スズキ	日産車体	マツダ	Changan	Kito USA
ｱｲｼﾝｴｲﾀﾞﾌﾞﾘｭ	ダイハツ工業	日産ディーゼル	三菱自動車	Cinetic	Lucas-TVS
アイシン精機	太陽機械工業	日信工業	三菱重工業	Daewoo Precision	Magneti Marelli
愛知機械工業	太陽鉄工	日本電産トーソク	三菱電機	Daewoo Heavy	Micoromeasures
旭化成住工	タカタ	日本プラスト	三菱ふそう	Daimler Chrysle	MMTH
いすゞ自動車	タチエス	日本ワイコ	宮入バルブ	Delphi-TVS	Nissan Power
ヴァレオ	ティエステック	ネリキ	森精機	Denso Brasil	Nissin Showa
ｶﾙｿﾆｯｸｶﾝｾｲ	デンソー	パナソニックEV	森永製菓	E-song	Ohio Transmission
神崎高級工機	東海ゴム工業	ﾊﾈｳｪﾙｼﾞｬﾊﾟﾝ	安永	Eureka Design	Proton
関東自動車工業	東光機械工業	バンドー化学	柳河精機	Ford Lio Ho	PT Ysunaga
キリンビール	東芝	日立製作所	ヤマハ発動機	Ford Motor	Shanghai Hino
クボタ	豊田合成	日野自動車	ヤマハマリン	General Motors	Sumitomo corpo
ケーヒン	トヨタ自動車	平田機工	ヤンマー	Gm Daewoo	United Faith
光洋機械工業	トヨタ自動車九州	富士重工業	ユニシアJKC	Harbin Dongan	Tthai Automotive
小松製作所	トヨタ車体	北海道電力	ユニプレス	Hefei Wiz	Wesco
自動車部品工業	豊田鉄工	ボッシュ	和賀プレシジョン	Hyundai Motors	Yulon Motor

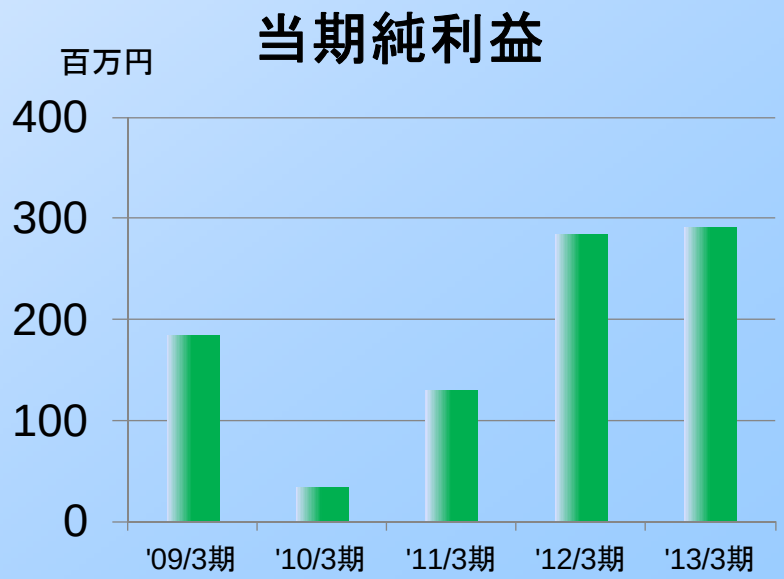
その他300社以上

【業績推移】


売上高
百万円
3000
2000
1000
0
'09/3期
'10/3期
'11/3期
'12/3期
'13/3期


営業利益
百万円
600
400
200
0
'09/3期
'10/3期
'11/3期
'12/3期
'13/3期


経常利益
百万円
600
400
200
0
'09/3期
'10/3期
'11/3期
'12/3期
'13/3期


当期純利益
百万円
400
300
200
100
0
'09/3期
'10/3期
'11/3期
'12/3期
'13/3期

【決算概要】 2013年3月期

ESTIC

財政状況

	2012年3月20日現在		2013年3月20日現在		増減額	主な増減内容
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	（百万円）	
流動資産	2,461	75.9	2,612	76.2	150	現預金 ＋51 在　庫 ＋93
固定資産	781	24.1	814	23.8	33	関係会社貸付金(タイ) ＋19
資産合計	3,242	100.0	3,426	100.0	184	
流動負債	369	11.4	310	9.1	△ 58	買掛未払金　△20 未払税金関係　△49
固定負債	85	2.6	96	2.8	10	退職給付引当金　＋10
負債合計	455	14.0	407	11.9	△ 47	
純資産合計	2,787	86.0	3,019	88.1	232	繰越剰余金 ＋231
負債･純資産合計	3,242	100.0	3,426	100.0	184	

【決算概要】 2013年3月期

ESTIC

キャッシュフローの状況

	2012年3月期 （百万円）	2013年3月期 （百万円）	主な内容
営業活動	76	97	税引前当期純利益＋517 棚卸資産増加　△92 為替差益　△46
投資活動	△ 16	△ 27	関係会社貸付金　△15
財務活動	△ 54	△ 61	配当金支払　△61
現金及び現金同等物期末残高	853	905	

【決算概要】 2013年3月期

ESTIC

経営成績

	2012年3月期		2013年3月期		前年同期比		主な増減理由
	金額（百万円）	売上比（%）	金額（百万円）	売上比（%）	増減額（百万円）	増減率（%）	
売　上　高	2,477	100.0	2,497	100.0	19	0.8	ナットランナ　△99 ハンド　△43 ネジ締付装置　＋175 サーボプレス　△17
売上総利益	927	37.4	949	38.0	22	2.4	材料・外注費　△19 人件費　＋5 経費　＋8
営 業 利 益	491	19.8	455	18.2	△ 37	△ 7.5	人件費 ＋10 経費　＋51（内研究開発費＋37）
経 常 利 益	503	20.3	517	20.7	14	2.9	為替差益　＋47 デリバティブ評価益　＋11
当期純利益	285	11.5	292	11.7	7	2.6	
１株当たり当期純利益	20,990円58銭		21,531円72銭		541円14銭		

【セグメント別売上実績】2013年3月期

ESTIC

	2012年3月期		2013年3月期		前年同期比		主な増減内容
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	増減率（%）	
ナットランナ	968	39.1	869	34.8	△ 99	△10.3	国内 12百万円増 アジア 101百万円減 中南米 10百万円減
ハンドナットランナ	870	35.1	827	33.1	△ 43	△5.0	国内 32百万円減 アジア 18百万円増 中南米 17百万円減
ネジ締付装置	474	19.1	649	26.0	175	＋37.0	国内 206百万円増 アジア 32百万円増 北米 54百万円減
サーボプレス	74	3.0	56	2.3	△ 17	△23.8	国内 5百万円増 アジア 9百万円減 北米 16百万円減
修理・点検等	90	3.7	94	3.8	4	＋5.4	
合　　計	2,477	100.0	2,497	100.0	19	＋0.8	

【地域別売上実績】2013年3月期

ESTIC

地域		2012年3月期		2013年3月期		前年同期比	
		金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	増減率（%）
国　内　計		1,311	53.0	1,511	60.5	199	15.2
海　外　計		1,165	47.0	986	39.5	△ 179	△15.4
	中国	368		323		△ 44	△12.2
	韓国	254		93		△ 160	△63.2
	タイ	102		192		89	87.3
	その他アジア	68		120		51	75.2
	北米	158		92		△ 65	△41.5
	中南米	162		122		△ 39	△24.6
	その他地域	50		40		△ 9	△19.6
合　　計		2,477	100	2,497	100	19	0.8

【株主還元】

ESTIC

【配当政策】
当社の利益配分についての考え方は、財務体質の強化・充実を図り、将来の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。

【配当金推移】

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期（予想）
1株当たり配当金	4,000円	4,500円	5,000円（記念配当500円含む）	※1 45円
配当性向	41.2%	21.4%	23.2%	―

※　2014年3月期(予想)は今後の業績動向や外部環境の変化により上記金額が変更になる可能性があります。
※1　2013年9月21日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。
そのため、2014年3月期(予想)は当該株式分割を考慮して記載しております。

用語説明

ESTIC

ネジ締め付け理論

ネジには弾性域と塑性域があります。

弾性域とは、ネジをねじ込んでいく過程において、ネジ首は伸びていきますが、鉄の性質上弾性があるので伸びたものは縮もうとする力があり、その弾性がある状態を弾性域といいます。

弾性域で振動が加わりますと、ネジ首が伸び縮みをし、その瞬間に雌ネジと雄ネジのそれぞれのネジ山の間に隙間ができることによりネジが緩みます。

塑性域とは、弾性域をこえてネジを伸ばしていくとネジが伸びきり縮む力がなくなる領域をいいます。塑性域までネジを伸ばすと、弾性がないので振動を加えてもネジは伸び縮みせず、ネジ山に隙間ができることがないので緩みません。

尚、塑性域を超えてネジを伸ばしていくと最後には破断します。

弾性域から塑性域に変化する点を降伏点といい、緩まないネジ締めとはこの降伏点を越えた点（出来るだけ降伏点に近い塑性域）までネジを伸ばす締め付け管理により実現します。

パルス制御技術

コンピュータ制御によりモーター出力のON、OFFを繰返し発生させることにより、
高い締め付けトルクも保持している手にかかる圧力を軽減する技術です。

【本資料における注意事項等】

本資料には株式会社エスティックの業績、計画、戦略などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。
これらの将来的予測に関する記述および資料は、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれております。
その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社エスティック管理部
TEL 06-6993-8855
URL http://www.estic.co.jp